

## 戸田市の教育に期待すること

### 21世紀型スキル育成アドバイザー、PBL/STEAM 教育アドバイザーの皆様から 激励のメッセージをいただきました。



リバネス キャピタル 取締役  
リバネス教育総合研究センター 主席研究員

森安 康雄 氏

今年度は小学校新指導要領が実施されました。センター研究会などを通じて何年も準備してきたSEEPなどの取組が、GIGAスクールの後押しも受け、まさに開花する矢先に地球規模でのコロナ禍に直面したわけです。戸田市では、すぐさま「新しい学びの様式」に対応

して、総力でオンライン学習に取り組まれました。それが可能だったのは先生方に蓄積があったからに他なりません。やったことがないのと尻込みするのではなく、やったことがないけどやってみようと思ひ込むことは、まさに21世紀の子供たちに求められる力に他なりません。慣れないことに懸命に取り組む先生方の姿こそ、子供たちの最高の学びの糧となったのではないのでしょうか？結果は百点満点ではないかもしれませんが、でもそれはまだ伸び代があるということです。先生方にはこれからもそういう成長マインドセットを持ちチャレンジを続けていただければと思います。



株式会社情報通信総合研究所  
ICT創造研究部 特別研究員

平井 聡一郎 氏

昨年度末からのコロナによる臨時休業は学校も含め、社会全体に変化は当たり前、常識からの脱却という意識変化をもたらしました。それは変わっていい、変わらなきゃいけないという意識改革と言えます。

さらに学校に行けないという非日常は、学校、教室でしかできない学びとは何か問いかけてきました。そして、そのような時期だからこそ、常に日本の教育をリードした戸田教育に私は注目しています。常に一歩先んじてきた戸田市の先生方だからこそ見える教育があると考えているからです。それは、一人一台のICT機器環境だからこそ実現できる新たな授業デザインの創造です。それこそが戸田市の掲げるSEEPによって実現する学びの姿と言えるでしょう。常にチャレンジする戸田教育、そしてそれを支える先生方一人一人に期待を込めてメールを送ります。



フューチャーインスティテュート株式会社  
代表取締役  
教育ICTリサーチ 主宰  
セサミストリート・ティーチャー

為田 裕行 氏

児童生徒にとっても先生方にとっても、本当に大変な1年が過ぎたように思っています。コロナ禍によってオンライン授業、密にならない学習活動、GIGAスクール構想の前倒しなど、本当にいろいろな

ことが起こった1年間でした。その間、戸田市の教育が「学びをとめない」ことを目指し、さまざまなチャレンジをしてきたのを見せていただきました。戸田市の学校は、「“できること”をする」のではなく、「“しなければならぬこと”をする」ために、努力を続けてきました。

まだまだ社会の形は変わり続けていくでしょう。そのなかで、戸田市の教育に期待するのは、子どもたちが生きる10年後、20年後を見据えた学校づくりです。学校は、変わっていく社会に対応して、自分らしく生きられる力を身に付けられる場であり続けてほしいと思います。



インテル株式会社  
パブリックセクター・スマートシティ 事業推進部  
教育事業推進担当部長

竹元 賢治 氏

戸田市のPBL（プロジェクト型学習）の研究・実践、ならびに推進体制はICT教育とともに国内トップランナーとして全国から注目

されております。それは、我々オトナが解決できずに先送りする課題やこれから噴出する課題群を子どもたちは、我々が思いつかないアイデアを創造し、さらに進化したテクノロジーを活用し、新たな解決手法を用いて世界中の人々とともに解決していく必要があります。そのために我々に出来ることは、現在我々が持ちうる全ての知識や技能、能力、また環境すべてを彼らに提供する必要があります。PBLによる探究や課題解決の学びはまさにそのためです。ぜひPBLの学びを通じて、とだっ子が自ら未来を切り拓くチカラを育ててください。



株式会社WIL  
シニアディレクター

遠藤 慶太郎 氏

新学習指導要領が実施され、さらにコロナ禍の中、これまで常識とされてきた知識や方法論、価値観が当てはまらない状況を実感する1年だったかと存じます。そのような中でも、戸田市教員の皆様、あらゆる教科、学年においてICTを活用し、新しい学びの取組に挑戦

されている姿を拝見し、大変頼もしく、感激いたしました。

誰もが多様な人々と協働し、主体的に問題解決を行い、新しい価値を創造することが求められる社会において、PBL型の学びはより一層重要性を増すものと思われます。PBLの実践には実社会との連携が重要であり、外部の協力は不可欠です。子どもたちが世界に目を向けるきっかけを作るためには、先生方には世界と学校を繋ぐ越境人材としての役割が期待されています。子どもたちの未来のためにも、戸田市教員の皆様には是非世界を巻き込み、挑戦し続けていただきたいと期待しております。

令和2年度 戸田市教育研究集録

●発行日：令和3年3月30日 ●編集発行：戸田市教育委員会 〒335-8588 戸田市上戸田1-18-1



▼戸田市教育委員会公式 Facebook  
<https://www.facebook.com/todaedu>

